

千葉市科学都市戦略事業方針

概要版

I 科学都市戦略

1 科学都市戦略策定の趣旨

科学・技術を取り巻く環境や国の科学技術政策、市内の地域資源との連携を踏まえ、科学・技術の成果を活用した学校教育・生涯教育の充実と地域産業の活性化など、「科学都市ちば」の実現を図っていくため、本市の基本的な方針と事業の方向を示す。社会経済環境の変化などに対応して随時の見直しを行うものとし、目標年次を設定せず、概ね3年ごとに事業の検証を行い、効果的かつ効率的に施策を推進する。

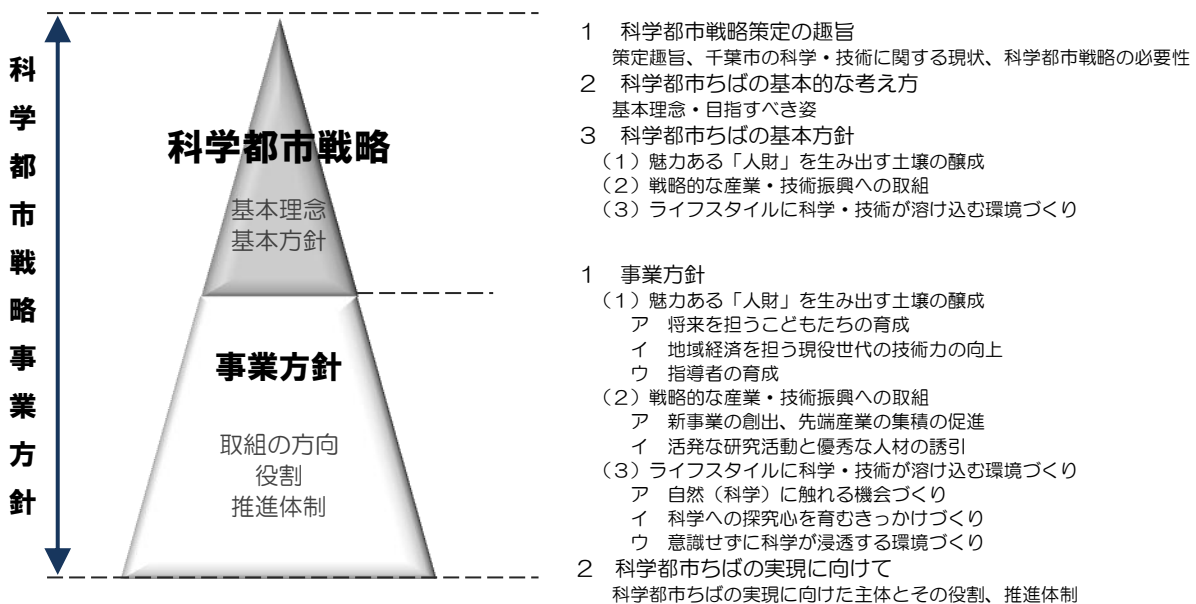
2 科学都市ちばの基本的な考え方

基本理念

『こどもから大人まで、すべての市民が、日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる、科学都市を創造する。』

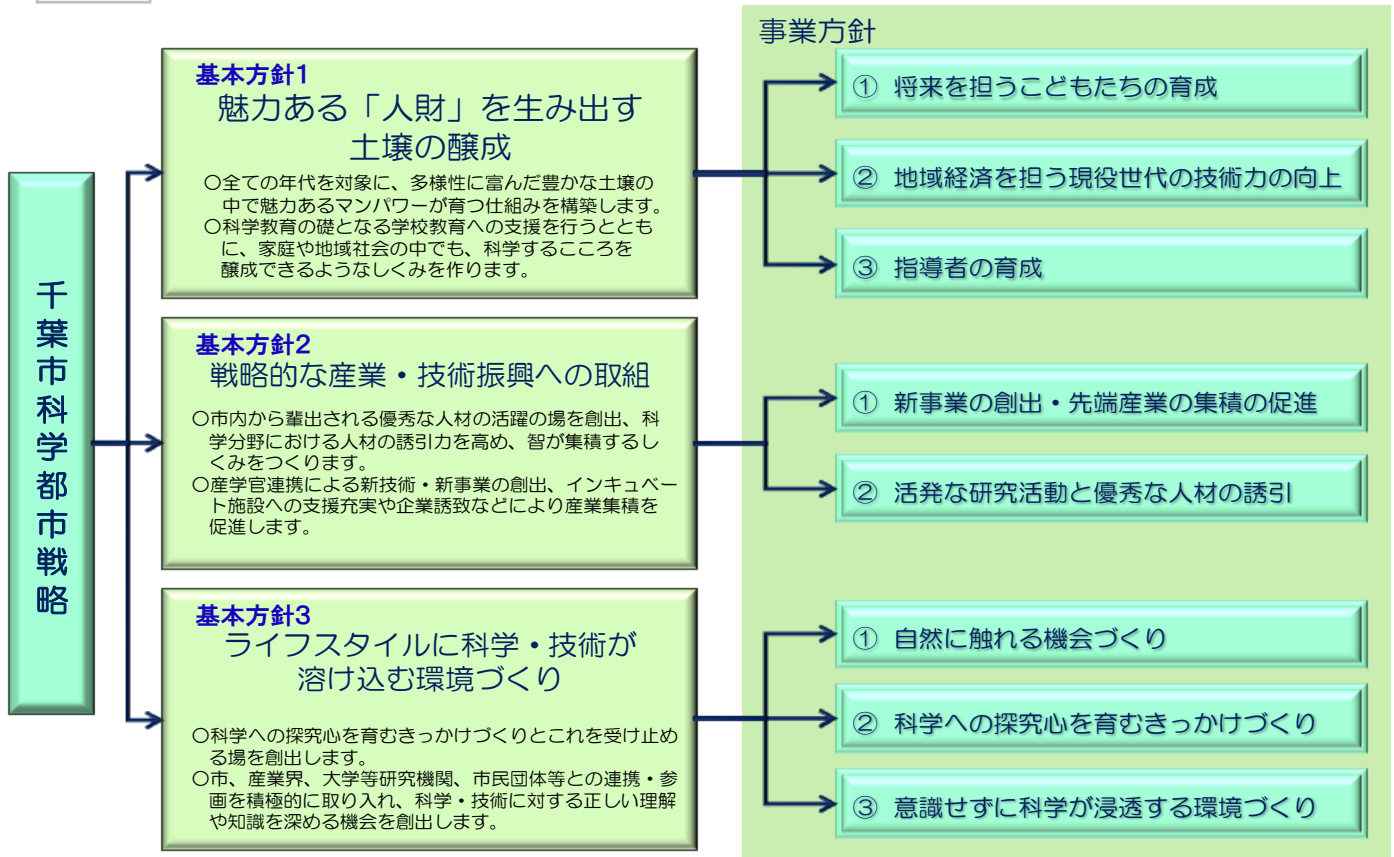
目指すべき姿

日常生活に科学が溶け込んだライフスタイルが根付くことにより、科学への興味・関心が世代や立場を超えて幅広く浸透し、科学を身近に感じる土壌が醸成されていくことから、市、産業界、大学等研究機関、市民団体等が共通の認識と理解を持ち、連携を深め、人材の輩出や産業・技術の振興など未来に希望を持てるまちづくりを目指す。



II

科学都市実現のための事業方針



事業方針1 ① 将来を担うこどもたちの育成

こどもたちの科学・技術への興味・関心を高めるため、長期的・継続的な視野に立った教育環境を整備し、学校教育における科学教育の支援体制を拡充します。また、家庭や地域社会の中での科学教育を推進し、日常的に科学・技術に触れる機会の創出に取り組みます。学校、家庭、地域が連携し、こどもたちの科学・技術への興味・関心を高め、科学に親しめる環境づくりを推進します。

【取組の方向】

学校教育における科学教育の強化、キャリア教育の推進 など

事業方針1 ② 地域経済を担う現役世代の技術力の向上

市内企業数の約95%を占める中小企業の持続的発展が地域経済の活性化と市内雇用を促すことにつながります。このため、地域経済を担う現役世代の技術力を向上させるため、ものづくりや最先端技術開発への支援など、ニーズにあった知識・技術の習得機会の充実を図ります。

また、即戦力を求められる就職前の学生に対する実践的な学びの機会を創出するなど、将来の産業基盤を支えるような技術者、科学者を千葉市から輩出するため、先端的な科学・技術を学べる環境を創出します。

【取組の方向】

技術力向上の機会充実、企業や工業高校等との連携 など

事業方針1 ③ 指導者の育成

教員の理数科目に係る実践的指導力の向上や、日常生活と科学・技術の架け橋となる担い手の育成システムを構築します。

また、企業・大学等研究機関及び市民団体等の地域の教育資源を活用して、指導者による科学・技術教育の普及・啓発をサポートするための教育カリキュラムの充実を図ります。

【取組の方向】

教員研修の強化、地域における指導者の育成 など

事業方針2① 新事業の創出、先端産業の集積の促進

産業の活性化を目指し、市内企業の新事業への取り組みを促進するとともに、新たな起業を支援します。産学官連携等によるシーズとニーズのマッチングによる製品化、さらには商品化を目指した支援のほか、産業のプラットフォーム化が求められているため、新事業創出の重点分野である「環境」「IT」「医療・福祉」「新製造技術」を基本とする、成長分野を意識した施策を推進することで、多くの新規起業、既存企業の新事業参入を促進するとともに、市内への企業誘致を戦略的に展開します。

【取組の方向】

ベンチャー企業の育成支援、産学官連携の推進、国際経済交流の推進 など

事業方針2② 活発な研究活動と優秀な人材の誘引

優秀な人材が市内に集まるよう、企業・大学による産学共同研究の促進を支援するとともに、市内における科学・技術に関する研究活動が活発化するよう、資金調達のコーディネート機能を強化します。

また、指導力のある人材の発掘に努めるとともに、将来を担う人材を地域で育てるため、産学官連携による環境作りや研究成果の発表機会の創出、早期事業化の支援を推進します。

【取組の方向】

研究者等によるアウトリーチ事業の促進、千葉大学サイエンスパークセンターの活用 など

事業方針3① 自然（科学）に触れる機会づくり

人が最初に持つ科学的関心は、身近な自然の営みを解き明かしたいという知的好奇心であることから、まず、日常的に自然と親しむ機会を充実するとともに、個々のライフステージに合わせた、日常生活との科学・技術の関わりを感じることができる環境づくりを推進します。

【取組の方向】

自然体験講座の充実、科学コミュニケーション活動の推進、家庭や地域における科学教育活動 など

事業方針3② 科学への探究心を育むきっかけづくり

日常生活に潜む科学への好奇心や探究心（「科学するところ」）を育む機会を創出するため、科学的関心（疑問の解消、体験したいという欲求、高度な知識の習得など）を受け止める環境を整えます。

【取組の方向】

企業、大学・研究機関等と連携して、あらゆる世代を対象とした公開講座等の機会を創出、科学・技術の文化と芸術・歴史などの文化とを融合した取組、科学コミュニケーション活動の推進 など

事業方針3③ 意識せずに科学が浸透する環境づくり

千葉市科学館がキーステーションとなり、大学等研究機関、教育機関、産業界、市民団体等の連携を深め、千葉市既存事業の充実、新規事業の創出へ向けて、有機的なネットワークの構築とその支援体制を整備します。

【取組の方向】

科学館運営事業の拡充、科学フェスタの開催、普及啓発活動の充実、マスメディア等を通じた市民への情報発信 など

科学都市ちばの実現に向けて

市民

○一人ひとりが科学に親しむ心を持つことが、科学・技術をリードする次世代の人材育成に繋がることを自覚し、家庭、地域においても「科学するところ」が醸成されることを期待。

企業

○企業の事業化・製品化において、学校で学んだことが、どのように科学・技術に応用されているのかを、次世代を担う子ども達に伝える取り組みを期待。 など

大学等研究機関

○将来の科学・技術の振興を担う優秀な研究者や技術者の人材育成活動を基本として、市民の生涯学習活動にも積極的に関わりを持ち、子どもから大人まで幅広い市民に対する科学・技術への関心を高めるとともに、探究心を受け止める活動を展開することを期待。 など

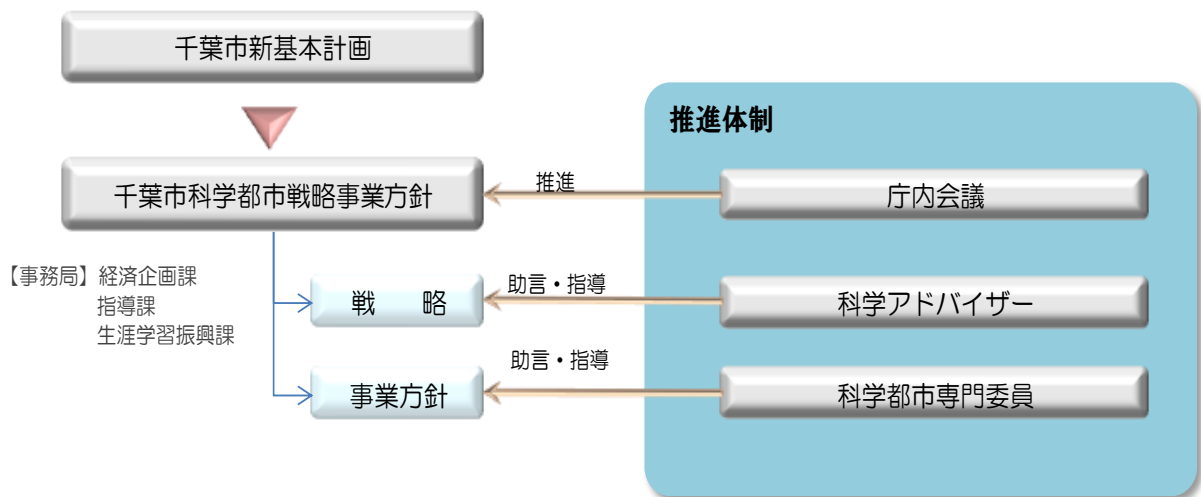
教育機関

○学校教育における「科学するところ」の育みや生涯学習における市民の科学リテラシーの伸長を推進。
○科学館を拠点とし市民・企業・大学等と連携した「科学フェスタ」の開催。
○国・県、民間の教育機関等との連携・協力を推進します。

行政

○基本理念や基本方針の実現に向けて、地域の特性や課題を踏まえ、特色ある科学・技術振興に取り組む。
○科学・技術の振興を支える市民団体の育成支援など、産学官・市民との連携交流、情報の共有化を進め、各主体がそれぞれの役割を十分に発揮。 など

科学都市戦略の推進体制



科学アドバイザー … 「科学都市ちば」の実現に際し、科学的知見に基づいた助言・指導を仰ぐため、科学・技術分野において貢献した実績を持ち、市民にとって親しみやすい人物を、科学アドバイザーとして設置します。

科学都市専門委員 … 本市の科学都市戦略事業方針の推進に際し、専門的知見に基づいた意見と、自らが持つ科学・技術分野のネットワークを持った、企業、大学等研究機関、市民団体等などの有識者を、科学都市専門委員として設置します。

千葉市科学都市戦略事業方針
(平成 23 年 6 月)

千葉市経済農政局経済部経済企画課
千葉市教育委員会学校教育部指導課
千葉市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課